

# 誠之の教育

4月号（第605号）  
令和3年4月6日発行  
文京区立誠之小学校

## 誠之に関わる全ての方の幸せを願って

校長 宍戸 敏和

春たけなわの季節となりました。新入生、在校生及び保護者の皆様におかれましては、御入学、御進級おめでとうございます。146名の1年生を迎え、全校768名で誠之小学校の令和3年度がスタートしました。

私は、この度、西田義貴校長の後任として着任いたしました宍戸敏和（ししどとしかず）と申します。歴史と伝統ある誠之小学校に着任し、改めてその職責の重さを感じるとともに、歴代校長・教職員の築き上げてきた校風をさらに磨き上げていきたいと思っております。

現在校舎は改築中ではありますが、本校体育館前に槐（えんじゅ）の樹がそびえています。毎日子供たちはこの槐の木を正面に見て、登校することと思っております。槐は誠之小学校のシンボルの樹でもあります。この槐は、仏教と同じ時期に渡来し、人々から幸福の木として親しまれていたことから、花言葉に「幸福」があるそうです。私は、この槐の樹を見て、改めて思いを強くしました。それは、「誠之に関わる全ての方の幸せ」を願うことです。子供たちも、保護者の皆様も、地域の皆様も、そして誠之小で働く教職員も全ての方が毎日幸せだな、と感じるためには、どんな教育活動をしていくのか。そのことを念頭に置き、子供たち一人一人の健やかな成長を願い、教職員一丸となって、安全・安心な学校環境の整備と充実した教育活動を推進してまいります。校舎改築が続き、仮校舎の中でのスタートではありますが、引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を十分とり教育活動を進めてまいります。

保護者・地域の皆様方の本校教育活動への更なる御理解と御協力をどうぞよろしく申し上げます。

